

News Release

〔報道関係各位〕

ここから始まる 110 周年ストーリー
**創業 110 周年を見守るシンボルツリーを植樹
「シダレザクラの植樹祭」を開催**

日時 2019年3月6日（水） 11：00～

株式会社奈良ホテル（奈良市高畑町 1096 代表取締役社長：宮崎 好弘）は、2019年10月17日（木）に創業110周年を迎えるにあたり、数年前より樹勢衰退が認められた正面玄関横のシダレザクラの植え替えを行います。

これは、4月1日（月）よりスタートする「奈良ホテル創業110周年プロモーション」を見守るシンボルツリーとして、110周年を機に植樹するものです。また、このシダレザクラとともに作庭した「遼（にわたずみ）の庭」のお披露目もいたします。

今春、110年の歴史が育んだクラシックな外観とピンク色に咲き誇るシダレザクラが、美しい春のランドスケープ（景観）を奏で、110周年の幕開けを告げます。

■ 植樹祭 ～ ここから始まる 110 周年ストーリー ～

日 時：2019年3月6日（水） 11：00～約30分

出席者：代表取締役社長：宮崎 好弘・ホテル役員 他

■ 遼（にわたずみ）の庭お披露目

遼（にわたずみ）とは、雨が降り、地上に溜まる水たまりのこと。万葉集の中では、「流るる」などにかかる枕詞としても使われています。この庭は自然に囲まれた奈良ホテルの立地を活かし雨が降った時のみ、小川が流れるよう設計された古都奈良にふさわしい風情あるお庭です。

ご取材ご希望の方は、11：00頃ホテル玄関前にお越しくださいませ。

作庭業者：庭舎 MAKIOKA 代表：牧岡 一生（まきおか かずお）

1945年 福井県生まれ 1970年 近畿大学卒業

1975～87年 日本庭園史学者の森蘊（もり・おさむ）氏に師事

現在は、東大寺「龍蔵院」・名勝「依水園」・橿原神宮「文華殿庭園」などの復元整備や管理をしている

奈良ホテルについて

明治42年（1909年）に「関西の迎賓館」として創業。以来多くの賓客がその歴史を飾り、時を重ねるほどに雅な美しさは一層輝きを増しています。桃山御殿風檜造りの本館は東京駅の設計で有名な、辰野金吾氏によるもの。100年以上の時を経てなお重厚華麗な姿を見せ続ける関西随一のクラシックホテルで、記憶に残る一日をお過ごしください。



SINCE 1909

【このリリースに関するお問合せ先】

(株)奈良ホテル 営業部営業企画課 藤田・津川

〒630-8301 奈良市高畑町1096 TEL: 0742-24-1151 FAX: 0742-24-0255

MAIL kikaku@narahotel.co.jp